

|       |          |         |         |      |     |
|-------|----------|---------|---------|------|-----|
| 科目名   | 異文化ゼミナール | 科目コード   | 1152    | 単位数  | 2   |
| 担当者名  | 柳川 博     | 開講セメスター | 第2セメスター | 開講年次 | 1年次 |
| 授業の方法 | 講義       | 実務経験    | 無       |      |     |

● 授業のねらい

次の2点を授業のねらいとする。  
 豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につける。  
 修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につける。

● 到達目標

次の3点を到達目標とする。  
 自主的に学習研究環境を整備する。（大学設備の有効な利用方法）  
 学習の成果を自身の言葉で表現する能力を身につける。  
 図書や雑誌記事を通して社会科学的思考を養う。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス（大学施設の有効利用法・2年次以降の学修計画について）
- 2週目 教養への誘い（自由と平等）
- 3週目 教養への誘い（近代日本と現在）
- 4週目 教養への誘い（多文化世界）
- 5週目 人間の記録（「自伝」の面白さ）
- 6週目 人間の記録（科学者という仕事）
- 7週目 人間の記録（「生と死」の記録）
- 8週目 パラダイムを超えて（知の誕生）
- 9週目 パラダイムを超えて（パラダイムシフト）
- 10週目 戦争と平和への希望（「戦後」を考える）
- 11週目 戦争と平和への希望（ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマ）
- 12週目 戦争と平和への希望（「平和」はいかにして達成されるか）
- 13週目 現代の重要問題（グローバリズムとナショナリズム）
- 14週目 現代の重要問題（多極化する世界）
- 15週目 現代の重要問題（日本の課題）
- 16週目 総合討論

● 準備学習(予習・復習)等の内容

下記の『参考書』を手がかりとして、選択した図書や記事を精読することが最も大事な予習である。読了後の「書評」をゼミで報告し、グループディスカッションを通して課題を発見し、関連する図書や資料を探索し、さらに読書や研究の幅を広げていくことが復習である。関連情報はCoursePowerにもその都度掲載するので確認すること。上記の予習・復習には、それぞれ2時間以上必要である。

● 成績評価の方法・基準

報告する文献やテーマを選定するプロセスやプレゼンテーションの内容を60%、ディベートやグループディスカッションへのコミットメントを20%、報告と討論に対する「自己点検」を20%として評価する。なお、報告と討論の自己点検についてはCoursePower上の「自己点検シート」に研究成果、問題解決の経過、全体の反省点等を複数回記録すること。

● 履修上の留意点

毎時間、必ず出席することはもとより、他の学生の報告を真剣に聞き、自身の意見を表明し、ディベートする場を数多く作ること。ゼミの時間以外にも関連する学習や議論の場を自主的に作ること。「オフィス・アワー」を利用して考えをまとめてみよう。

● 課題に対するフィードバックの方法

報告する図書名や報告内容は事前にCoursePowerの「報告要旨」に記入し、報告の前に相談や打ち合わせを行う。報告後は「自己点検シート」により今後の課題や具体的な取り組みなどを記入し、それをもとに面談を行う。

● テキスト

特に指定しない。下記の参考書や「推薦図書リスト」などを手掛かりとして報告する図書や雑誌・新聞の記事を自身で選択すること。

● 参考書

- ・ 広島大学101冊の本委員会編『大学新入生に薦める101冊の本』（岩波書店）
  - ・ 岩波文庫編集部『岩波文庫解説総目録』（岩波書店）
- 必要に応じてCoursePowerで紹介する。

● 更新日付

2020/01/31 06:10